

# 板柳町総合教育会議議事録

1. 会議日時 令和5年9月29日（金） 午後3時

2. 会議場所 板柳町多目的ホール あぷる 会議室

3. 出席者

（構成員）

町長 葛西 健人

板柳町教育委員会

教育長 高橋 幸治

委員 坂本 正幸

委員 松橋 洋

委員 田澤 傳弘

委員 三浦 和馬

（事務局）

総務課長 大井 俊介

学務課長 田中 禎一

学務課長補佐 小野 隆政

行政係長 鳴海 紘介

4. 傍聴者 東奥日報社記者、陸奥新報記者、青森放送記者

5. 協議・調整事項

① 既存施設を利活用した小学校統合について

6. 会議内容

別紙のとおり

## 別紙

### ○大井総務課長

本日はお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。  
ただいまから、板柳町総合教育会議を開会いたします。  
開会に先立ちまして町長からあいさつをお願いいたします。

### ○葛西町長

皆さん、今日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。  
教育委員会の皆様には大変お忙しい中、板柳町総合教育会議にご出席いただき本当にありがとうございます。  
また、日頃より当町の教育行政の推進にご尽力をいただきまして、心から感謝を申し上げます。

皆様が町の宝である子どもたちの健やかな成長を願い、より良い教育環境を提供するために、小学校の統合について何年もの長きに渡って、協議・検討を重ねてこられたことは承知しております。深く敬意を表し、感謝いたします。

本日の総合教育会議では、町理事者として、小学校統合についての考え方を説明させていただきます。そして、私の小学校統合に関する考えを教育委員の皆様にご理解、ご同意いただきたいと思いますので、何卒ひとつよろしく願いいたします。

### ○大井総務課長

ありがとうございました。それでは、協議・調整事項に入りますが、要綱第3条により、町長が議長を務めることになっておりますので、よろしく願いいたします。

### ○葛西町長

それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただきますので、よろしく願いします。座ったままで進めさせていただきます。

本日の案件は、『既存施設を利活用した小学校統合について』となっております。  
これについては、最初に、私から教育委員会の皆様へ説明をさせていただきます。  
4月の選挙におきまして、皆さまからのご支援を賜り町長という重責を担わせていただいております。私は、こころ豊かな誇れる「りんごの里づくり」を目指しており、選挙で掲げた7つの公約は、どれもが町にとっての重要課題であります。

その公約の1つに『小学校統合の推進と既存施設の利活用』がございます。

私の小学校統合に関する考え方は、3点あります。

1つめは、既存の4つの小学校を1つに統合するということです。

2つめは、板柳北小学校または板柳南小学校の既存施設を改修して、統合小学校の校舎とすることです。

3つめは、「板柳町立小学校統合整備審議会」から出された答申の内容を可能な範囲で生かして改修を行うことであります。

このことについては、板柳町議会議員の皆様をはじめ、4つの小学校で行った住民説明会でも町民の皆様にご説明させていただきました。既存施設を利活用するという統合小学校の考え方については、説明を聞いていただいた皆様には十分ご理解いただいたものと思っております。また、住民説明会の内容は新聞等でも報道されましたので、多くの町民に周知されたものと認識しております。

そして教育委員の皆様には、連日、住民説明会に足を運んでいただき、本当にありがとうございました。

説明会の場でも申し上げましたが、統合小学校は、町の財政等を考え、新築ありきではなく既存施設を有効活用した整備を進めていきたいと考えています。使える施設は使った方がいい、改修出来るものは改修して既存施設の利活用をするという考えでございます。

これからの新しい板柳町の町政を進めるにあたり、町民が心豊かな生活を送るため、そして、町民サービスを充実させていくためにも、統合小学校の校舎以外にも予算をかける必要があります。

教育委員の皆様には意見交換会や4回開催いたしました住民説明会において、私の考えをお伝えさせていただいておりますが、これまで教育委員会の皆様は、長い期間協議を重ねられ、町と打ち合わせしてきた、『統合小学校は板柳中学校校地内に新設する』という方針を変えることに、どうか、ご理解いただきたいと思っております。

重ねて、「統合小学校は既存施設を利活用する」ということに、ご同意いただきますよう、よろしくお願いいたします。

これからの小学校統合の方針は、お手元に配布してございます『既存施設を利活用した小学校統合について』としてまとめてございます。

それでは、総務課行政係長の方から内容についてお伝えさせていただきます。

#### ○鳴海行政係長

それでは、私の方から説明させていただきます。次第の2枚目に配布してございますA4の資料の準備をお願いいたします。

## 既存施設を利活用した小学校統合について

こころ豊かな誇れる「りんごの里づくり」を目指す新たな板柳町の町政として、町民が心豊かな生活を送るため、そして、これからの町民サービスを充実させていくために、統合小学校は町の財政等を考え、新築ありきではなく既存施設を有効活用した整備を進めます。

既存施設の利活用であっても、より良い教育環境の整備をめざし、可能な限り迅速に小学校の統合を進めます。

### 1 統合小学校について

#### (1) 4校を1校に統合する

将来を担う子どもたちが、様々な個性を持つ仲間とのふれあいを通して、社会性や協調性を育み、切磋琢磨しながら、心豊かに学び合えるよう、現在4つある小学校を1校に統合する。

#### (2) 板柳北小学校または板柳南小学校を改修して統合小学校の校舎とする

町内児童数の状況から板柳北小学校または板柳南小学校を統合小学校の校舎として利活用する。両小学校校舎はいずれも築40年を迎えることから、施設の状態、通学面、地理的条件などあらゆる状況を細かく調査しながら、よりふさわしい校舎を統合小学校として選定する。

#### (3) 板柳町立小学校統合整備審議会の意見を参考に校舎等を改修する

板柳町立小学校統合整備審議会による答申（R4年10月）内容のうち、「板柳中学校校地内に新築する」という部分を除いた、統合小学校の教育方針や施設整備、教育環境の整備などの意見については、できるだけ参考にして校舎等の改修を行う。

### 2 統合小学校の教育環境などの整備について

統合小学校に通う小学生たちが、長期に渡って快適に学べる教育環境となるよう、校舎や体育館の屋根・外壁の長寿命化、エアコン設置、トイレの洋式化等の改修工事を行う。

また、保護者負担の軽減を図るため、スクールバスの運行、校地内の駐車スペースの確保や放課後学童クラブの整備等を進める。

### 3 校舎等の改修について

既存施設の利活用であっても、改修後の統合小学校に通う小学生たちが快適

に学べる教育環境とする。また、工事期間中であっても児童の良好な学習環境の保持及び安全確保等にも十分配慮された校舎等改修計画の策定を行う。

以上です。

○葛西町長

はい、ありがとうございました。ただいま、これからの統合小学校についての方針を説明いたしました。教育委員の皆さまからご意見等がありましたらお願いしたいと思います。なんでも結構です。ございませんか。

はい、坂本委員。

○坂本委員

この利活用のことを4箇所において町長さんが住民説明会を行ったということは大変貴重だったのかなと思っています。町長さんの考え方がしっかり住民に説明されたものと思っています。私も参加してみて、住民の方は出来るだけ早くしてほしいという意見がどこの会場でも出ていたのであれば、やっぱり4校を1校に早くしてほしいという住民の願いが伝わってきたような感じを受けました。

そこで私の方で、この際ですね、校舎を改修する際には工事を伴うものですから、子どもの安全、送り迎えの保護者もあるのですけれど、子ども達の安全を第一に考えて工事を進めていただきたいということ。このことは大前提ではないかなと思ってました。

あと、学校という教育活動を営む上では、前年度の2月までに教育課程の申請書を行って、こういう活動をしますよという学校行事やらの計画を立てるわけで、それを立てる上では工事の進捗状況とかどのような形で進むのかとか、学校を運営する校長、先生方はどういう風に来年度の活動を組み立てていけばいいのかは工事にいろいろと影響を受ける可能性が高いので、その辺は工事の進め方とかスケジュールとかを十分学校側と意思疎通を図って、このように進んでいくんですよと、それがまた親御さんが工事が始まれば自分の学校の教育課程や学力がどうなるのかという心配とかもでてくるので、例えば安全確認の場合には原則在籍したままともいいましたけれども、北か南にした場合は、安全確保のためには一時的にでも校舎を1つの方に移動して工事を行うとか、いろいろな方策をこれから考えていっていただければなというのが1つです。

もう1つは、改修した校舎を使うとなれば今まででも40年使ってきている部分も、部分的に残っていくし、それから使っていく上でいろんな不備な面が出てきたときに修繕費とかの予算をやはりきちんとかけて、町長さんが先ほど小学校の教育

環境を充実させたいという願いがですね、そういうところの施設を使う子どもたち、教職員、それから地域住民の利用しやすい環境作りに予算が必要なときは、町として予算化していただきたいなとちょっとお願いしたいなと思ってました。

以上です。

#### ○葛西町長

今の坂本委員の要望ですが、その部分については、何回か委員の方々と話し合いもしました。やっぱり当初は入ったままでやろうと、当初は皆様に説明いたしました。ただ、打合せ、説明していく中で坂本委員が言ったとおりですね、安全を第一に、それとあと学力とかを低下させてはいけなと、そういう部分、話し合いの中で出てきまして、やっぱりそういうことを尊重しながら進めていかないといけないと、教育委員会の話し合いででましたので、それを踏まえてきちんと進めていきたいと考えております。

それと、40年使った既存の施設をリニューアルするということで、それなりの予算はかかると思います。やっぱりこういう方向で進めるということで話を私しましたので、やっぱり、みんなで力を合わせて改修も、統合小学校も、県内でなんていうんですか、1つのモデル校舎となるよう進めたい。みんなで力を合わせて、やっぱりダメだったとかじゃなくて、とことん考えて考えて子どもたちのために進めていきたいと。とにかくモデル校舎みたいなものを作っていこうじゃないかという話になっておりますので、坂本委員がいったとおりですね、作った後でも修繕とか十分対応して参りたいと思います。

本当に貴重な意見ありがとうございました。他にございませんでしょうか。

それでは、坂本委員からいわれたとおり、とにかく慎重に、前向きに、モデル校となるように頑張って参りますので、ご理解いただきたいと思います。

最後に高橋教育長、何かございませんでしょうか。

#### ○高橋教育長

それでは、私の方から教育委員会の協議の内容等を含めてお話をさせていただきたいと思います。

これまで教育委員会としての方針というのは、板柳町立小学校統合整備審議会から受けた答申に沿った、板柳中学校に隣接して新築というものでしたけれども、教育委員会委員は町長との意見交換会であったり住民説明会に参加させていただいて、葛西町長の既存施設を利活用した小学校統合、それに対する考え方についてはしっかり認識しておりました。過去の定例会においても小学校統合の考え方、方針についてたびたび協議して参りました。8月下旬に行われた小学校統合に関する住民説

明会にも出席し、町長のお考え、住民・保護者の方の意見や考えを聞いて、それをもとに、9月22日の教育委員会定例会で、教育委員会としての対応について話し合いをしました。そこでは、町民・保護者の皆様の、児童に早くよりよい教育環境を提供したい、準備したい、そういう思いを重く受け止めて、既存施設を利活用した小学校統合という葛西町長の考えについて理解・同意して、今までの方針を変更し、既存施設を利活用して4校の小学校を統合することを確認いたしました。

その定例会で、既存施設を利活用して小学校統合を進める場合に、教育委員会として留意しなければいけないこと、これについて話し合いをしましたので、それを今この場でお伝えしたいと思います。

先ほどの、坂本委員の発言にもありましたが、まず1つ目が工事期間中の児童の安全確保と学習活動に支障がない教育環境を維持するということです。児童が校舎にいる状況で改修工事を行う場合には、工事に伴う児童の安全確保、また騒音などで学習に影響が出ないように、安全、教育環境の維持には最大限の配慮をする必要があると思っております。また、これから決まる工事の規模や内容によっては、児童が校舎にいる状態では安全や学習環境の維持ができない、そういう判断がされる場合もあるかと思えます。その場合には、児童や保護者の負担軽減等を十分考慮した上で、児童の一時的な移転、それも検討して、児童の安全を確保し、学習活動に支障が無い教育環境を提供する必要があると考えております。

2つ目、統合小学校の施設整備についてです。児童達が快適に学べる教育環境とするために既存校舎を改修するのですが、改修で対応できない施設や設備については新設・導入をするということです。校舎を長寿命化して長い期間、児童がより良い環境の中で学べるようにするには、板柳町教育委員会が板柳町立小学校統合整備審議会から受けた答申内容を中学校に隣接して新築するという部分以外は、今回の統合に生かして、校舎等の工事を進めていくことが必要であると考えております。

3つ目は、統合小学校改修工事等に係るスケジュールの組み立てについてです。説明会の町民や保護者の方々からは現状複式学級で学ぶ児童がいることや校舎が老朽化して困っている、という現状からできるだけ早く、子どもたちに良い教育環境で学ばせたい、その思いが強く感じられました。その思いを大事にしながらも、統合小学校の選定については、事務局の調査だけではなく設計業者等の専門的な意見を聞いて、板柳北小学校、板柳南小学校、双方の具体的な評価を行って、きちんとした、客観的な選定根拠を町民に示す必要があると思っております。また、改修内容についても慎重に検討することが求められますので、これらにはある程度の期間はかかるものと見込んでおります。そして、先ほどの坂本委員からの意見にもあったように、学校は早めに、次年度のスケジュールを決める必要がありますので、それに支障が無いように、工事に関する情報を学校側と早い段階で打合せをする必要

もあると考えております。慎重に、そうした面に配慮しながら、改修工事等に係るスケジュールを組み立てていきますので、その点をご理解をお願いいたします。

町民や保護者の方々の、出来るだけ早く子どもたちに良い教育環境をとるという思いを大事にしながら、また、住民説明会で町長がお話しされたように、町民の方々に、その都度丁寧な説明をしながら、出来るだけ早く統合小学校で児童が学べるように、町と教育委員会が1つの方向をめざして、今後の作業を進めていきたいと考えておりますので、よろしくをお願いいたします。

#### ○葛西町長

どうもありがとうございました。これから町と教育委員会、一緒になって統合小学校の改修工事の内容、予算、スケジュール等を確定させていきたいと思っております。

また、教育長からありました『町民は小学校の統合について早期に進めて欲しい』という意見は、町としてもしっかりと受け止め、スピード感をもって、適切に進めて参りたいと考えております。

統合小学校の考え方について方針を大きく変更することとなりますが、教育委員の皆様からご理解・ご同意を賜り、心から感謝申し上げます。

教育委員の皆様には引き続き、ご尽力をいただくこととなりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

この他、皆様から特別発言がなければ、本日の板柳町総合教育会議はこれで終了したいと思いますのですが、よろしいでしょうか。

無ければ、会議の進行を事務局にお返しします。

#### ○大井総務課長

はい、ありがとうございました。総合教育会議を終了いたします。本日はありがとうございました。